

## スーパーマーケット販売統計調査 ～2026年8月実績（速報版）、2026年7月実績（確報版）～

（一社）全国スーパーマーケット協会、（一社）日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会の三団体は、「スーパーマーケット販売統計調査」2026年8月実績速報値及び7月実績確報値を発表した。

### ■2026年8月実績【速報版】

|         | 構成比    | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|---------|--------|----------------|----------------|
| 総 売 上 高 | 100.0% | 102.6%         | 101.4%         |
| 食品合計    | 92.5%  | 102.8%         | 101.6%         |
| 生鮮3部門合計 | 34.1%  | 105.1%         | 103.7%         |
| 農産      | 14.5%  | 104.9%         | 103.8%         |
| 水産      | 8.4%   | 105.6%         | 104.0%         |
| 畜産      | 11.2%  | 104.8%         | 103.2%         |
| 惣菜      | 11.9%  | 104.3%         | 102.9%         |
| 日配      | 20.5%  | 102.6%         | 101.3%         |
| 一般食品    | 26.1%  | 99.5%          | 98.6%          |
| 非食品     | 5.2%   | 99.6%          | 98.8%          |
| その他     | 2.3%   | 100.4%         | 99.7%          |

### ■エリア別集計

| エリア    | 集計対象<br>企業数 | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|--------|-------------|----------------|----------------|
| 北海道・東北 | 43          | 100.9%         | 100.3%         |
| 関東地方   | 73          | 103.8%         | 101.6%         |
| 中部地方   | 53          | 102.8%         | 102.0%         |
| 近畿地方   | 44          | 101.6%         | 100.8%         |
| 中国・四国  | 34          | 102.9%         | 101.7%         |
| 九州・沖縄  | 23          | 104.8%         | 104.8%         |

### ■保有店舗数別集計

| 保有店舗数   | 集計対象<br>企業数 | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|---------|-------------|----------------|----------------|
| 1～3店舗   | 46          | 100.6%         | 100.6%         |
| 4～10店舗  | 84          | 102.5%         | 101.8%         |
| 11～25店舗 | 48          | 102.2%         | 101.7%         |
| 26～50店舗 | 46          | 101.8%         | 101.2%         |
| 51店舗以上  | 46          | 102.9%         | 101.4%         |

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 集計企業数(社)        | 270         |
| 総店舗数(店舗)        | 8,612       |
| 総売場面積(㎡)        | 14,426,724  |
| 既存店総売上高(万円)     | 121,997,688 |
| 店舗平均月商(万円)      | 14,355      |
| 売場1㎡あたりの売上高(万円) | 8.6         |

### ■2026年7月実績【確報版】

|         | 構成比    | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|---------|--------|----------------|----------------|
| 総 売 上 高 | 100.0% | 101.1%         | 100.0%         |
| 食品合計    | 92.0%  | 101.3%         | 100.1%         |
| 生鮮3部門合計 | 33.3%  | 104.0%         | 102.6%         |
| 農産      | 13.6%  | 104.0%         | 102.7%         |
| 水産      | 8.6%   | 103.9%         | 102.5%         |
| 畜産      | 11.1%  | 104.0%         | 102.5%         |
| 惣菜      | 11.8%  | 103.1%         | 101.8%         |
| 日配      | 21.0%  | 101.1%         | 99.8%          |
| 一般食品    | 25.9%  | 97.5%          | 96.5%          |
| 非食品     | 5.7%   | 99.7%          | 98.6%          |
| その他     | 2.3%   | 99.2%          | 99.1%          |

### ■エリア別集計

| エリア    | 集計対象<br>企業数 | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|--------|-------------|----------------|----------------|
| 北海道・東北 | 43          | 99.2%          | 98.6%          |
| 関東地方   | 73          | 102.3%         | 100.6%         |
| 中部地方   | 53          | 100.5%         | 99.4%          |
| 近畿地方   | 44          | 100.2%         | 99.4%          |
| 中国・四国  | 34          | 102.3%         | 101.2%         |
| 九州・沖縄  | 23          | 101.3%         | 101.3%         |

### ■保有店舗数別集計

| 保有店舗数   | 集計対象<br>企業数 | 前年同月比<br>（全 店） | 前年同月比<br>（既存店） |
|---------|-------------|----------------|----------------|
| 1～3店舗   | 46          | 97.2%          | 97.2%          |
| 4～10店舗  | 84          | 100.4%         | 99.4%          |
| 11～25店舗 | 48          | 100.8%         | 100.3%         |
| 26～50店舗 | 46          | 101.0%         | 99.7%          |
| 51店舗以上  | 46          | 101.3%         | 100.1%         |

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 集計企業数(社)        | 270         |
| 総店舗数(店舗)        | 8,614       |
| 総売場面積(㎡)        | 14,416,873  |
| 既存店総売上高(万円)     | 112,433,771 |
| 店舗平均月商(万円)      | 13,266      |
| 売場1㎡あたりの売上高(万円) | 7.9         |

※売上高は税抜金額。 ※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入。

2026年8月実績の総売上高前年同月比（速報値）は、全店 102.6%、既存店 101.4%となった。

2026年8月実績キーワード TOP3 は、①前年高温の反動 ②値上げと買上点数減 ③お盆需要堅調。

8月は天候不順や前年の反動、仕入価格の高止まりによる買上点数の減少が響き、日配や一般食品、非食品が伸び悩んだ。一方、お盆商戦のごちそう需要や簡便・高コスパ商品の動きに支えられ、農産・水産・畜産・惣菜は堅調を維持した。全体としては価格改定による単価上昇が売上を下支えしつつも、二極化が顕著な結果となった。

#### 【農産】（やや好調）

天候や相場の影響を受けつつも堅調に推移した。野菜は季節野菜（枝豆・かぼちゃ等）や主要野菜（玉ねぎ・じゃがいも）が好調で売上を牽引した一方、トマトやレタスは生育状況や相場により地域差が出た。果物は出荷が前倒しとなった梨が好調で、ぶどうも堅調に動いた。桃やすいか、メロンなどは前年より気温が低い地域があったことや天候の影響で好不調が分かれた。

#### 【水産】（やや好調）

仕入高の高止まりが続く中、お盆需要を確実に捉えた。刺身盛合せや寿司などの特選品・大型パックが伸び、値頃感のある提案を行ったうなぎや、かつお、切身、魚惣菜も売上を下支えした。一方、さんまは漁期の遅れや前年高実績の反動から苦戦し、まぐろや近海魚も相場高で伸び悩んだ。養殖・輸入魚を含め仕入価格が高止まりしており、利益確保に課題を残した。

#### 【畜産】（やや好調）

相場高が続くなか、節約志向に応える商品が堅調だった。豚肉の切落しや薄切り、鶏肉、挽肉など値頃感のある定番品が売上を下支えし、味付け肉や肉惣菜といった簡便商品も好調だった。お盆商戦では牛肉の焼肉用やステーキに需要がみられたが、高値や節約志向から前年を下回る店舗もあり明暗が分かれた。価格訴求と利益確保の両立に苦慮する声も多く聞かれた。

#### 【惣菜】（好調）

夏休みやお盆需要を背景に好調に推移した。弁当や丼物などの米飯類、揚げ物、和惣菜が堅調で、お盆商戦

では寿司やオードブルなどのごちそう商材や焼鳥が売上を伸ばした。寿司は握りや巻き寿司が伸長した一方、大容量商品は伸び悩むなど差が出た。値上げに伴う一品単価の上昇が売上金額を押し上げたものの、節約志向から販売点数の減少を指摘する声もみられた。

#### 【日配】（やや不調）

気温が上がらない地域が多く、アイスや冷やし麺、チルド飲料など涼味関連商品が伸び悩んだ。一方で、納豆や豆腐などの和日配、ヨーグルト、パン類、冷凍食品といった日常消費財は堅調に推移し売上を下支えした。価格改定による一品単価の上昇が売上金額を支えたものの、全体として顧客の節約・生活防衛志向の高まりによる買上点数の減少傾向が色濃くあらわれた。

#### 【一般食品】（不調）

前年ほど気温が上がらず、飲料や乾麺、つゆなどの涼味商品や、ビール類・缶チューハイが伸び悩んだ。一方、コーヒーや茶類などの嗜好品は価格改定後も比較的堅調で、調味料、カップ麺・袋麺、カレー、菓子類（米菓やチョコレート等）も好調な動きをみせた。値上げによる一品単価の上昇が売上金額を下支えたものの、生活防衛意識の高まりによる買上点数の減少や買い控えが強く影響した。

#### ・米の動向

前年の備蓄米等の高い実績に対する反動や、新米の販売開始に伴う相場下落が影響し売上は苦戦した。競合を踏まえた定番売価の見直しや古米の売り切り、価格訴求を強化する店舗がみられ、単価の下落が売上金額を押し下げた。新米への切替えが進むなか、令和7年産の売り切りを進めつつ、販売数量の確保と利益確保をいかに両立させるかが各店舗の大きな課題となっている。

#### 【非食品】（やや不調）

気温が上がらなかった影響から、殺虫剤や園芸用品などの季節商品が振るわなかった。指定ごみ袋も置き需要の反動や家庭内在庫の増加により伸び悩んだ。一方で、家庭紙や洗剤は特売や価格訴求が奏功した店舗もあり、オーラルケアや衛生用品も堅調に動いた。価格改定による単価上昇が売上を下支えたものの、買い控えによる販売点数の減少が響いた。